

7 地域貢献と本学の認知度向上を目指した取り組み — 歯科衛生士学科21年間の歯科活動の実績と成果 —

本間和代, 江川広子, 平澤明美, 渡邊美幸, 小野真奈美, 天池千嘉子,
計良倫子, 木口友美, 木暮ミカ, 山田隆文
明倫短期大学 歯科衛生士学科

keywords : 地域貢献, 21年間, 歯科活動実績

はじめに

高等教育機関の使命には、教育・研究のほかに地域貢献が掲げられている。本学は平成9年に専門学校から短期大学に移行したのを機に、地域歯科保健活動等を積極的に展開し、同時に、歯科技工士・歯科衛生士の職業および本学の認知度向上を目指してきた。今後、さらに地域貢献を発展させていくにあたり、21年間の実績とその成果について検証した。

対象および方法

対象：平成9年4月から29年12月までに本学歯科衛生士学科が実施した地域歯科保健活動・事業等を対象とした。

方法：実施記録に基づき、活動実績をまとめた。

内容：①園・学校歯科保健活動、②出前講義、③歯科ボランティア、④学び直し講座（特色GPを含む）、⑤介護支援専門員を目指す受験講座等である。

結果および考察

本学歯科衛生士学科の21年間に亘る地域歯科保健活動および事業実績の概要は表に示すとおりである。

1. 園・小中学校における学校歯科保健活動

保育園等の実施施設は3施設（新潟・長岡市）で、対象は幼児・保護者を含む525人で、活動参加者数は歯科衛生士教員29人であった。また、小学校は12校（新潟・長岡市）で、対象は19,424人と最も多く、学生を含め参加者数は939人、中学校は5校（新潟・長岡・魚沼市）で、対象は5,676人、参加者数は367人であった。個々の小中学校の実施期間は最高21年から1年まで差はあるものの3年以上の実施校においては、学校歯科健診結果が年々向上していること

が分かった。これは本学の指導による効果のみでなく他の要因もあると思われるが、少なくとも養護教諭の熱意と学校側の歯科保健への理解・協力が強く感じられ、その意識改革にも貢献したと思われる。

また、病院ボランティアは20年継続していて、難病患者さんの口腔機能管理に貢献している。学校以外の出前講義も近年多くなり、内容も多岐に亘った。さらに、全国的に展開した文科省の特色GP 1・2や既卒者を対象とした学び直し講座、保健医療福祉職を対象とした介護支援専門員を目指す受験講座の事業も一定の成果を上げることができた。特に介護支援専門員の資格を得た歯科衛生士が介護保険制度の中で、歯科の専門性を活かして県内外で多く活躍している。

表 明倫短期大学歯科衛生士学科の21年間における地域歯科保健活動および事業等の実績（H9～H29）

実施校および事業	施設等数	実施回数	対象者延べ数	参加教員学生
保育所・幼稚園	3	14	525	29
小学校	12	79	19,424	939
中学校	5	49	5,676	367
出前講義（小中学校を除く）	10	11	458	20
ボランティア（病院・災害等）	-	547	14,696	4,856
歯科衛生士学び直し講座他	-	76	1,300	156
介護支援専門員受験講座	-	46	939	163

まとめ

多分野への地域貢献は歯科保健の啓発と歯科医療従事者や本学の認知度を向上させるのに成果を上げたと思われる。今後も地域に根差した明倫短期大学を目指して、健康長寿に貢献していくことを期待したい。

本研究に関して開示すべき利益相反状態はない。